

## 平成21年度第6回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成21年12月10日（木）9:30～12:00

場所：三重県建設技術センター鳥居支所2階会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- (1) 二級河川志登茂川水系河川整備計画策定に向けて  
志登茂川水系の河川整備計画概要を説明し、主に次のような質疑応答を行いました。

(委員)

整備計画で1/20の規模であれば、平成16年9月の洪水が来た場合氾濫区域がかなり残る。どのような状況になるかシミュレーションは行っているのか。

(事務局)

整備計画河道での氾濫シミュレーションについては、現在作業を進めているところである。

(委員)

内水域の取扱いとして、自然流出で考えるとあるがどうか。

(事務局)

基本方針では、内水域の所もポンプではなく自然流入として扱っている。

(委員)

志登茂川の場合、一番問題になるのが近鉄橋梁と江戸橋のネックだと思うが、これらの解決は具体的にどの程度先だと考えているか。

(事務局)

国交省との協議は未だ進めていないが、県の予定としては市道江戸橋の改築が平成27年までかかる予定。国道23号については中勢バイパスに交通が分散されたところで片側ずつ架け替える案などが想定される。

近鉄橋梁については、志登茂川本川と支川横川の両方に架かっているため、費用が莫大になることから、近鉄橋梁は次の段階と考えている。

今回の整備計画で市道江戸橋及び国道23号橋梁を改築することでネック点が広がり、上流側の水位を下げるができるため、上流側の被害についても軽減できる。

このことから、近鉄橋梁周辺については引き続き検討していきたいと考えて

いる。

(委員)

整備計画規模 1 / 20 ということだが、近鉄橋梁を改修しないので上流側は 1 / 5 程度の流下能力しかない。近鉄橋梁より下流部 1 / 20、上流部 1 / 5 という計画でも良いのではないか。区間によって計画規模を変えるのも 1 つの考え方。

(事務局)

言われるとおり、近鉄橋梁を架け替えないことから、近鉄橋梁より上流部の計画規模設定については検討・整理する。

(2) 二級河川志原川系河川整備計画策定に向けて

志原川水系の河川整備計画概要を説明し、主に次のような質疑応答を行いました。

(委員)

樋門の改築というのは具体的にどの様にする考えなのか。別の場所に造るのか。

(事務局)

現在検討中であるが、現在ある位置の直上流あたりへ新しい樋門の設置を考えている。

(委員)

ヨシ原の湿地や池の貯留効果がどの程度見込めるのかというのを、もう少し検討された方が良いのではないか。

(事務局)

なるべく実現象に近いところまで貯留効果を見込んで、河道の改修が過度にならない様、低減効果を見込んだ上で計画に反映させていきたいと考えている。

(委員)

19年に完成した人工リーフが一定の効果を発揮しているという評価であるが、その効果がどの程度かを見て、その効果を計った上での整備計画なのか。

(事務局)

人工リーフは平成19年度の事業で完成したものであり、長期に積み上げたデータは無いが、河口の維持掘削は過去からおこなっており、人工リーフ完成後の維持掘削にかかる事業費が減少している。

人工リーフは、河口閉塞対策として河口の水位を3.5mまでに抑えるとい

う考えで設置しており、この9月の降雨においても概ね3m位まで水位が上昇した後に急激に水位が落ち込んでいる。恐らくこの時点でフラッシュしたところを水位計が観測したのであろうと考えている。このことから、過去からの事業費の推移や水位計の観測データから見て、河口の人工リーフについてはある一定の効果を発揮していると評価している。

(委員)

この整備計画自体が人工リーフの効果を前提としているため、実際に人工リーフがどこまで効果を上げているかという検証をしておく必要がある。

(委員)

志原池、大前池、アシの湿地帯の様な所は非常に環境の良い所で、サンクチュアリの様な形で観光等の売り物になるのではないかと思う。

(事務局)

具体的には未だ考えていないが、公園や大規模な遊歩道をつくってしまっただけでは意味がないので、水辺に親しめるような場所を残すことや、水辺を歩けるような簡易な環境整備などが出来れば良いと考えている。

(委員)

自然の資産として活用出来るように感じたので、熊野市と十分協議して、出来ることはやられてはどうかと思う。

(委員)

町中に大きな公園をつくるよりは、中流域に何ヶ所も川に下りられる所をつくってほしい。子どもたちが川に親しむ、川遊びをするというのは非常に大事で有意義だと思うので、簡単な階段程度で良いので何ヶ所かつくるということを考えてほしい。

### (3) 今後の予定

次回の流域委員会については、12月24日に開催、開催場所は別途通知することを確認。

対象河川：二級河川朝明川、二級河川堀切川

## 5. 閉会